

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-4-1 経営革新及び経営基盤の強化への支援
---------	------------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	中小企業課長 美濃 亮	電話番号	0852-22-5881
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	中小企業団体中央会活動支援事業		
目的	(1) 対象	事業協同組合等	
	(2) 意図	経営の安定・改善と事業の発展を図る。	
事業概要	・事業協同組合等に対して指導監督や経営指導等を行うため、中小企業団体に対して補助金を交付する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	目標値		2,200.0	2,200.0	2,200.0	2,200.0	件
	式・定義	取組目標値						
	式・定義	指導員が組合等を訪問して相談対応した件数	実績値	2,320.0	2,450.0			
		達成率	-	111.4	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
	式・定義	取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	105,847	106,918
うち一般財源 (千円)	105,847	106,918

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基じた現状)

○県全体の組合数が減少し、支援対象が縮小している
 ・中央会会員数 H27年度末320→H28年度末314 加入6、脱退12(解散が多数を占める)

○年間巡回相談対応件数は2450件と目標値を達成している。
 指導員は、組合の運営指導だけでなく、各種調査事業の実施等や行政機関や支援機関と連携した取り組み等により、中小企業の声を行政施策に反映させる役割も担っており、これらの業務等も勘案して目標値を設定していることから、目標値を変更する必要はない。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

巡回による相談対応件数は目標値を上回っており、事業者に寄り添うきめ細やかな支援につながった。

- 経営計画策定事業所数 81件
- 経営計画認定事業者数 1件
- 地域資源事業化件数 2件
- 設立組合数 3件

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」
 ○組合の減少
 組合を組織することにより情報や経営資源を集結して共同で解決にあたっていくことが重要であるが、組合総数は依然として減少傾向にあり、中小企業が抱える課題も個別では対応が困難なものも多い。

②困っている状況が発生している「原因」
 ○設立の減少
 昨今の経済情勢の下では、新たに組合を設立して新事業に取り組むような体力のある事業者が少ない。
 ○解散の増加
 経営悪化や後継者不在による廃業等で組合構成員が減少することにより、組合の収入が減少し、組合自体の運営が困難になっている。

③原因を解消するための「課題」
 ○組合加入のインセンティブを効果的に説明することが必要
 ○中小企業や組合の抱える課題が複雑化・高度化しており、指導員による十分な対応が困難な場合も増えている。
 ○組合を構成する中小企業への支援が必要

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 各組合に適した共同事業の再構築、新たな事業展開、新分野進出、ITの活用等について、更なる支援・指導をしていく
- 経営指導員研修への参加、アドバイザーへの同行等により指導員の資質向上を図っていく
- また、引き続き、組合を構成する中小企業への支援も行っていく。